

令和 7 年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和 8 年 2 月 1 9 日

江別市立江別第三中学校

1 本年度の重点目標

◎今年度の経営重点目標◎

「さらに向こうへ」～夢を語ろう

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学校経営の重点	1 目指す生徒像の実現に向けて、取組を明確にし、全ての教育活動で推進している。	A	「身に付けさせたい資質・能力」を4つに精査し重点化したことで、目指す生徒像が明確であった。来年度も継続したい。	A	A
	2 お互いを尊重し合って業務を推進する組織になっている。	A	何事も組織的に取り組み、お互いを尊重し支えあっているという心理的安全性の高さを実感できていた教職員が多かった。継続したい。	A	A
教育課程・学習指導	11 子どもたちの主体的で対話的な学びが実現できるよう指導方法を工夫している。 23 授業等で ICT 機器が有効に活用され、生徒の情報活用能力を育てている。	A	対話での協働的な学びと、ICTを用いた個別最適な学びの保障を目指した授業展開ができた。より一層生徒自身の思考力・表現力を高める取組を継続したい。	A	A
	4 組織的・継続的な校内研修の充実に努めている。	A	今年度も、校内研究で話し合い活動（ファシリテーション）に組み込み、主体的で対話的な学びの実現のため、教務・研修部を中心に学校全体で組織的に取り組めた。継続したい。	A	A
	28 日常的に保護者や地域に教育活動を公開し、地域とともにある学校作りに努めている。	A	毎月1回以上の公開日を設定し保護者・地域に来校を促した。今後も継続し地域・保護者の理解と協力を得たい。	A	A
	7 発達段階に応じた進路についての考えが持てるように系統立てたキャリア教育を進めている。	A	見直しをすすめ、より系統だった独自性の高いキャリア教育を推進してきた。キャリア教育を軸に、家庭学習不足等の課題を解決していきたい。	A	A
生徒指導	20 生徒がお互いを思いやり、積極的にかかわりあう関係作りができるよう努めている。 16 日常生活の中で、生徒に寄り添う教育相談体制づくりに努めている。	A	教育活動を精選することで、時間を生み出し、生徒に関わり、相談できる時間を確保してきた。いじめ未然防止のためにも継続したい。	A	A
	21 特別な配慮等が必要な生徒への組織的な対応に努めている。	A	定期的に校内支援委員会で交流を行った。特別支援コーディネーターを中心に、必要な配慮を研修し、充実させた。また、通級指導も一層充実させたい。	A	A
	3 生徒の安全に関わる資質能力を育成するとともに教職員の危機管理意識の醸成に努めている。	A	教職員の危機管理意識を高める研修を一層強化していく。防災教育・交通安全教育、情報モラル教室等、生徒の安全意識を高める教育を推進したい。	A	A
	24 授業等での活用場面をはじめ、様々な場面で情報モラルの意識が高まる指導を行っている。	B	生徒のタブレット端末は、学習・思考の道具として位置づいている。一方で SNS 等での情報モラルは、読解力や人間関係を築く力を高める指導に課題が残った。道徳や特別活動を中心に、より徹底を続けたい。	A	A
小中一貫	26 三中学校区小中一貫教科系統表・年間指導計画・生活と学習のスタンダードの指導実践と充実に努めている。	A	令和7年度は、第一中学校区と指導事項・スタンダードの共通化を図って行った。新しい「めざす子ども像」実現のために、さらに工夫を重ね、教育活動を推進したい。	A	A

【評価項目の設定、達成状況及び改善の方策に関する学校関係者評価委員の意見】

- 教職員同士での改善の提案など、より良い指導をしていこうとする意識が高まっていると感じられた。
- 保護者アンケートで学校に望むことの中で、毎年、いじめ・嫌がらせを改善してほしいとの意見を見る。生徒アンケートでは「いじめはダメ」だと回答しているパーセンテージが上がっているが、100%になるのは難しいことだと思う。ただ、意見がある以上全部を解決するのは大変だが、少しでも子どもたち、保護者の方々の思いが改善されていくことを願う。
- AI 及び生成 AI の急速な普及により、子どもたちを取り巻く環境がさらに大きく変化している。学校には今後も難しい対応が求められるが、よろしく願いしたい。

【評点】 A：よい    B：おおむねよい    C：ややよくない    D：よくない